

## 会 議 結 果 の お 知 ら せ

宮古市工業振興ビジョン策定委員会第二回委員会を次のとおり開催しました。

令和6年10月24日

宮古市工業振興ビジョン策定委員会

- 1 開催日時  
令和6年9月26日（木） 午後1時30分～午後2時40分
- 2 開催場所  
市民交流センター2階 運動スタジオ2
- 3 議題  
(1) 宮古市産業立市ビジョン（案）について  
(2) その他
- 4 会議の概要  
議題について説明した。  
詳細は、別添のとおり
- 5 問い合わせ先  
産業振興部 産業支援センター 産業支援係 電話0193-68-9092

## 宮古市産業立市ビジョン策定委員会第二回委員会 開催結果

### 1 出席者（12名）

熊谷郁夫委員、今野雅之委員、吉田和弘委員、村上真司委員、佐藤秀和委員、金子深雪委員、笹平仁委員、佐々木一志委員、小西英理子委員、佐藤慎吾委員、星野正徳委員、因幡幸助委員

### 2 欠席者（2名）

畠山雄次委員、佐々木博基委員

### 3 事務局出席者（6名）

産業振興部長 岩間健

企業立地港湾課長 竹原和彦

〃 企業立地推進係長 藤田和幸

産業支援センター所長 山崎義剛

〃 副主幹兼産業支援係長 畠山善徳

〃 産業支援係主任 沼崎理恵子

### 4 傍聴者

なし

### 5 議事等

#### (1) 宮古市産業立市ビジョン（案）について

宮古市産業立市ビジョン（案）について事務局から説明。審議を行い承認された。

#### (2) その他

第3回委員会の日程について説明。

質疑等無し

質疑応答内容

| 質問・意見  | 回答   |
|--|--|
| <p>【議題(1)「宮古市産業立市ビジョン(案)について」】</p> <p>(委員)<br/>資料1-2、2頁の「2 目標指標・目標値」<br/>①製造業総生産額は、宮古市の企業全ての生産額を反映させた数字か。</p> <p>(委員)<br/>資料1-2、2頁の「2 目標指標・目標値」<br/>③セミナー、研修等への参加者総数の現状値(R5)と目標値(R11)が横ばいになっている理由は。</p> <p>(委員)<br/>資料1-2、2頁の「2 目標指標・目標値」<br/>③セミナー、研修等への参加者総数の目標値は、平均値ではなく高く設定してほしい。市役所開催だけではなく、高等技術専門学校でも年間23コースで300から400人参加している。そういうセミナーを共催で開催し、加えるなど目標値を高くした方がよい。</p> <p>(委員)<br/>広報誌の企業紹介は、希望すれば自社も掲載可能か。</p> <p>(委員)<br/>資料1-2、2頁の「2 目標指標・目標値」<br/>⑥工業用地の新規整備とあるが、工業用地はどこを考えているのか。</p> | <p>(事務局)<br/>5年に1回行っている県の統計を基にした数字。企業数は不明だが100%ではないと思われる。</p> <p>(事務局)<br/>人口減少も理由の1つ。目標値(R11)は、直近3年間の平均値とした。</p> <p>(事務局)<br/>コロナ禍で開催できなかったセミナーもあるので、セミナーの目標値については再検討したい。他の団体が開催しているセミナーについても共催などを検討する。</p> <p>(事務局)<br/>年5回の掲載計画となっている。最初は誘致企業を掲載し、その後検討していきたい。</p> <p>(事務局)<br/>津波の浸水、洪水の浸水、三陸沿岸道路のインターからの距離などを考え検討している。物流に関しても有効性を重視して検討したい。</p> |

|   |  |
|---|--|
| <p>(委員)<br/>藤原・花輪地区など工業用地はたくさんあるが、使っていないのではないか。</p>   | <p>(事務局)<br/>市で管理している工業用地は金浜地区しかない。藤原地区は岩手県、花輪（田鎖）地区は民地である。</p>  |
| <p>(委員)<br/>工業用地に関する問い合わせはあるか。</p>  | <p>(事務局)<br/>問い合わせはあるが、すぐ提供できる土地は無い。相手の需要に合わせて整備するとすると時間を要する場合がある。</p>   |
| <p>(委員)<br/>毎年宮古市の人口も減ってきている。誘致企業も一つの手だが、担い手確保についてどう考えているか。人材を確保できないで、高い賃金で高卒者を多く雇用して苦勞している企業もある。人材について考えないと誘致しても意味がない。</p> | <p>(事務局)<br/>人口減少に対してどの地域でも取り組んでいるのが、U・I ターン対策や外国人労働者の受入などである。宮古市内にも外国人の技能実習生が約 60 名いる。様々な取り組みを行いながら、人材の確保を行っていききたい。人口減少は1つの取り組みで解決できない。様々な取り組みを組み合わせなければならない。<br/>企業の誘致は、①人がいるから来る企業②来てから人を集める企業、の2パターンある。多くは後者となることから、宮古市は不利であるが、今後も様々な取り組みを組み合わせ対応していききたい。広報で企業を紹介したのも誘致企業を知らない声が多かったことから掲載したものである。</p> |
| <p>(委員)<br/>広報のスペースが1頁であれば、半分ずつ2社掲載してはどうか。</p>  | <p>(事務局)<br/>伝えたい情報量が少なくなってしまうことから1頁になる。検討させてもらう。<br/>今、広報ではQRコードなどの掲載もしているので、様々な方法でPRに繋げていくことも検討していききたい。<br/>宮古地域振興センターが作成している、「企業ガイドブック」も広げながら目に触れるように努める。<br/>市のホームページもリプレース予定なので、そちらでもPRに繋げていきたい。</p>  |

|   |   |
|---|---|
| <p>(委員)</p> <p>別添資料 宮古地域「キャリア教育マップ」【宮古市版】の宮古市の取り組み、企業紹介動画HP掲載（宮古市のお仕事たち）の企業の選定基準はあるか。</p> <p>【議題(2)その他】</p> <p>第3回委員会の日程について事務局から説明。</p> <p>質疑等無し</p> | <p>(事務局)</p> <p>企画課で取り組んだ事業。宮古商工高校の生徒に取材に行ってもらい掲載したもの。高校生の取材をとおして企業紹介、PRを行っている。</p> |
|---|---|